

県内外80を超える窯元が一堂に集結し、個性豊かな作品を展示・販売します

第18回 天草大陶磁器展

とき 2月10日(木)～14日(日)
午前9時30分～午後5時
※14日(日)は午後4時まで

ところ 天草市民センター

内容 ●陶磁器の展示・販売

- ろくろ、絵付け体験など
- ※詳細は協議会ホームページに掲載
- 屋台村 (天草の特産品販売など)
- ※新型コロナウイルス感染症の状況により内容変更・中止の場合あり
- 問** 天草陶磁器の島づくり協議会事務局 (産業政策課内) ☎32-6786



抽選で10人に

瀬戸市グッズをプレゼント

ポストカード A4クリアファイル

せともの招き猫 など

応募方法 2月28日(日)までに、メール(住所・氏名・電話番号・記事の感想を記載)で申し込んでください。

M kouhou@city.amakusa.lg.jp

問 秘書課 ☎24-8816



申し込みはこちら▶



▼ホームページ

瀬戸市
(愛知県)

面積
111.4 km²

人口
128,753人
(令和4年1月1日現在)

主な産業
金属製品製造業、窯業

著名人
瀬戸朝香 (女優)
藤井聡太 (将棋棋士)

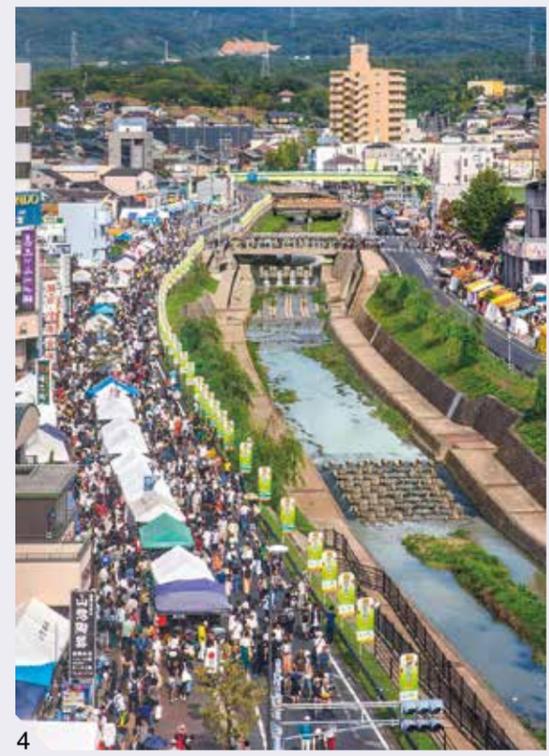


“やきもの”のまち 瀬戸市

“せともの(瀬戸焼)”で有名な愛知県瀬戸市。令和3年10月1日に本市との交流連携協定を締結しました。今後は、やきもの(陶磁器)等を通じた交流など連携・協力していきます。

との交流が始まりました

- 協定内容**
- 「やきもの(陶磁器)」というお互い共通の産業資源の継承・発展のため、連携協力する。
 - 災害発生時に相互に応援できる体制を整え、連携協力する。



- 4
- 1 民吉が初めて修業した高浜焼窯跡
 - 2 上田家住宅(天草町高浜)
 - 3 修業の拠点となった東向寺
 - 4 瀬戸川両岸約800mに渡り、窯元や問屋約200軒が陶磁器を販売する「せともの祭」
 - 5 染付山水図大花瓶※民吉の作品と言われている



瀬戸の大松窯の窯元・加藤吉左衛門の次男として生まれた加藤民吉は、文化元(1804)年、東向寺(天草市本町)の天中和尚(尾張国愛知郡菱野村出身)を頼り、当時磁器生産の先進地であった九州へ修業に出ました。天草に到着したのち、天草・高浜の上田家や長崎県佐々町など九州の地で修業し、磁器技法の習得に励みました。文化4(1807)年、瀬戸に帰郷した民吉によって伝えられた磁器の製造法のおかげで、瀬戸の染付磁器は急速に進歩し、発展していきました。

こうした業績から、瀬戸の「磁祖」として瀬戸市内にある窯神社に祀られ、毎年9月の第2土・日曜日に「せともの祭」が開催されています。

民吉年表

- 明和9年 1772年 尾張国瀬戸村吉左衛門の次男として生まれる。
- 享和元年 1801年 父吉左衛門とともに熱田にて新田開発に従事する。
- 文化元年 1804年 九州(天草など)へ修業の旅に出る。
- 文化4年 1807年 瀬戸へ帰る。
- 文化5年 1808年 一代限り苗字を許され、加藤民吉と名乗る。
- 文政7年 1824年 加藤民吉を窯神遷座所に合祀する。
- 文政9年 1826年



▲加藤民吉像(窯神社内) 2月で生誕250周年を迎える。

瀬戸市との磁器を通じた歴史的交流 瀬戸の染付磁器の発展に尽力した人物“加藤民吉”

世界に誇る「天草陶石」

天草には、「天草陶石」という単体で磁器を作ることができる世界的にも珍しい最上級の磁器原料があり、古くから磁器生産が盛んに行われていました。

天草陶石で作られた磁器製品は、他の陶石で作られたものと比べて、白さに濁りがなく美しいのが特徴。有田焼や清水焼など、高級磁器の原料や高圧ガイシ(絶縁体)の原料としても使用されています。

天草は江戸時代に「天領」だったため、陶磁器に決まった型はなく、それぞれの窯元による個性豊かな器が作られてきました。

平成15年には「天草陶磁器」として、国の伝統的工芸品の指定を受けています。

※江戸幕府の直轄地



市公式YouTubeチャンネル「天草Cityチャンネル」で“天草のやきもの”の動画を公開中▶

